

音楽科 2年間の学び

科目一覧(共通)

- 音楽理論I・II(和声を含む)
- ソルフェージュI・II
- 実技AI~IV
- 実技BI~IV
- 実技CI~IV
- 音楽史
- 音楽鑑賞A・B
- ポピュラー音楽理論
- コンピュータ音楽I・II
- 比較音楽学
- 伴奏法I・II
- 作曲法I・II
- 指揮法
- 音楽特講
- キャリアプランニングI・II
- 合唱A~D
- 合奏A~D
- 室内楽A・B
- 音楽科教育法
- ヒューマンズ論
- 音楽療法概論I・II
- 音楽療法論臨床I・II
- 音楽療法演習I・II
- 音楽療法実習I・II
- 老年医学
- 医学概論
- 臨床心理学
- 教育原理
- 発達障害論
- 卒業研究

1年次[前期]

理論やテクニックの導入編 基礎編をしっかりと修得



PICKUP 01 実技

個々のレベルに応じた基本奏法を学び、教則本を使用してのトレーニングや楽曲について深く研究を重ねるなど、演奏技術の向上をめざします。

1年次[後期]

前期で学んだ内容を実技や実践にいかす方法を修得



PICKUP 02 合奏A~D

オーケストラ・吹奏楽・電子オルガンなどの大編成から中小規模の編成まで、さまざまなアンサンブルや合奏を体験でき、演奏技術や音楽性を高め、仲間と心をつなげて奏でる喜びや音楽の楽しさを感じ取ることができます。

2年次[前期]

理論や実技、実践についてさらに幅広い内容を修得



PICKUP 03 音楽療法実習I・II

地域の高齢者施設へ向き、認知症高齢者のグループを対象とした音楽療法実習をおこないます。アメリカ音楽療法協会の臨床実施基準に基づき、実際にアセスメントをおこない、ゴールと目標を立て、評価し報告するまでを学びます。約1年間をおこなって定期的かつ継続的な実践をすることで、音楽療法士として必要な力を身につけていきます。

2年次[後期]

2年間の集大成として卒業試験に向けた研究に取り組む



PICKUP 04 卒業研究

最終年次の後期におこなわれる卒業研究(実技試験)は、2年間の学びの集大成といえます。主専攻の楽器の実技レッスンで修得した技術と表現に、これまで学んできた音楽の歴史と文化、理論も反映させて卒業演奏試験に臨みます。音楽療法コースは実習から研究テーマを設定し、卒業プレゼンテーションをおこないます。

めざせる未来・活躍できる仕事

音楽科

- 演奏家
- 音楽クリエイター
- 音楽療法士
- 中学校教諭(音楽)
- 音楽教室講師
- 音響スタッフなど
- 音楽学部3年次編入学

進学・就職 最新情報



卒業生からのメッセージ



(株)四国舞台テレビ照明ホール管理部 谷本 裕斗 さん 短期大学部 音楽科 2020年度卒業

音楽の知識や演奏技術だけでなく、音楽業界を見据えた幅広い知識も学べます。現在は、公共ホールで音響や照明、舞台マネージメントなどの業務をおこなっています。高校時代には周囲から音楽関係での就職は難しいと言われていましたが、自分の夢を追いかけたことで音楽科に入学。音楽制作や演奏だけでなく、その周辺領域まで幅広く教えていただく中で、音楽関係の仕事をしたという気持ちがより強くなりました。在学中に身につけた「演奏をサポートする知識や技術」をいかせる仕事につけたのは、丁寧に就職指導していただいたおかげ。音楽に携わる仕事をしたいという夢がかないました。

コースの紹介

演奏コース

4専修(ピアノ、声楽、管弦打楽器、電子オルガン)に分かれて学びます。

ピアノ専修

個人レッスンだけでなく、デュオや伴奏、室内楽で他コースの学生たちと交流があります。本学で開催される「徳島音楽コンクール」をはじめとして、各種音楽コンクールにも積極的に参加しています。



声楽専修

作品の歴史・背景を感じ取り「身体」という最高の楽器をとらえて、豊かな表現力で「心」を歌える。声楽家に育てます。また、音楽に大きく影響する語学にも力を入れています。



管弦打楽器専修

各楽器の専門的な演奏技術の修得と向上をめざし、感性を育みながらレッスンに集中できる学びの環境となっています。



電子オルガン専修

電子オルガンの基礎テクニックとそのトレーニング方法、音色別表現方法など、一人ひとりの個性に応じたレッスンプログラムを提供します。また、マニュアルには記載されていないテクニックも伝授します。



ニューサウンドコース

DTM・DAW、ボーカロイドなどによる音楽制作や、歌詞とメロディの相関関係を意識した作詞・作曲のテクニックなどを学び、現代の音楽シーンで求められる人材を養成します。



コンピューター・ミュージック専修

DTM・DAWソフトやボーカロイドを駆使し、ポップスやジャズなど、さまざまなジャンルの音楽制作に取り組みます。作曲やプログラミングのテクニックも一から学ぶことができます。



シンガー・ソングライター専修

既存の楽曲について歌詞とメロディの関係やコード進行を分析し、それを基盤とした曲作りや、表現方法を学びます。



音楽療法コース

多彩な演習や実習をとらえて高齢者を対象とした音楽療法の実施方法や効果などを学びます。卒業時に「音楽療法士2種」の資格を取得できます。



「音楽療法実習I」に向けて実践に必要なテクニックを学びます。

音楽療法論臨床II

本学名誉博士であるマイケル・ローバッカー博士の直接指導で、日本にいながアメリカの大学の音楽療法プログラムの授業を受けることができます。学内講義だけでなく地域の実習現場などでも講義を受けられる貴重な機会です。



総合音楽コース

音楽を基礎から学ぶためのコース。演奏テクニックや理論をしっかりと学び、総合的な音楽能力の向上をめざします。



音楽理論

音楽を学ぶのに必要な読譜・記譜や基本的な音楽理論を学びます。和声については、直感的理解が得られるよう、キーボード・ハーモニーの演習をしています。

